

世界史探究

(4 問題 100 点)

I

世界史探究問題

(20 点)

オスマン帝国は、バルカン半島や地中海などでヨーロッパの諸勢力と戦いながら、その勢力圏を拡張していった。2度のウィーン包囲とその帰結に必ず言及しながら、15世紀中頃から17世紀末に至る、オスマン帝国とヨーロッパの諸勢力との抗争と、それによるオスマン帝国の支配領域の変化を300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

II

世界史探究問題

(30 点)

次の文章(A, B)を読み, の中に最も適切な語句を入れ, 下線部(1)~(23)について後の問に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

A 中華人民共和国の首都が置かれる北京は, 華北平原の北端, 北と西を山地に囲まれた要害に位置している。北側はモンゴル高原に近接し, 東北へ山を越えればマンチュリア平原に通じ, 古来農耕民や遊牧民を含むさまざまな人間集団が往来した。

秦が薊城と呼ばれたこの地を征服して以来, 今日の北京一帯は長く中国王朝⁽¹⁾の支配下にあり, その北辺に位置した。隋では, 当時開発が進みつつあった江南と華北を結びつける a が建設され, 北は涿郡にまで達し, 江南の物資を東北へ大量に輸送することが可能になった。

唐が成立し, 太宗(李世民)がモンゴル高原の遊牧国家を打倒すると, この地に置かれた幽州一帯にも, その遺民を含むさまざまな遊牧民と農耕民が隣接して居住した。8世紀に入り, 唐が辺境の防衛体制を再編整備するなかで, 幽州に拠点置き強大な権限を握ったのが, ソグド人の血を引く安祿山だった。安祿山は遊牧民の軍事力を中核とする軍団を率い, 幽州で唐に対して反乱を起こす。皇帝が都から逃亡するなど, 唐は存亡の危機に陥ったが, 辛うじて反乱を鎮圧することができた。しかし, 以後の唐は弱体化し, 幽州を含めた地方の軍事勢力が半ば自立した状況となる。⁽⁵⁾

10世紀初頭には, モンゴル高原東部の遊牧民集団である契丹(キタイ)が台頭し, 新王朝を建国する。契丹は華北の政変に介入し, 後晋の建国を助けた見返りに幽州を含む地域を割譲された。複数の都を置いた契丹は, 幽州を都の一つとして南京と呼び, 農耕地帯の本格的な支配に乗り出した。12世紀にマンチュリアより興った女真が建国した金は, 契丹と北宋を滅ぼした後, 北京の地に遷都して中都と称した。⁽⁷⁾

13世紀にモンゴル帝国が出現すると, 遊牧民の強力な騎馬軍事力を背景に, 空前の規模でユーラシアの広域を統合する。チンギス=カンの孫の⁽⁸⁾

b が皇帝に即位すると、モンゴル帝国の中枢を華北とモンゴル高原にまたがる地に移し、金の中都城の北隣に新しい都城として大都を造営し、国号を元(大元ウルス)と称した。内陸の港を設けて海上航路とも連結した大都は、ユーラシア東西を陸路と海路で結ぶ交易・情報網の結節点となった。

- (9) 14世紀半ばごろより、ユーラシア規模で気候変動や疫病の流行が起こった。⁽¹⁰⁾ このころ、ユーラシア各地のモンゴル政権は解体局面に入り、元でも天災にともなう飢饉^{きん}や疫病が頻発し、各地で反乱が起こってその支配は動揺する。反乱のなかから頭角を現した朱元璋は明を建国し、明の軍隊が大都を占領して元をモンゴル高原へと駆逐した。江南より興った明も、永楽帝のときに北京に都を遷した。⁽¹¹⁾ 明の滅亡後、中華の主となった清⁽¹²⁾も北京を都とし、これが現在の北京に受け継がれることになったのである。

問

- (1) 戦国時代に薊城を都として中国東北部で栄え、秦に滅ぼされた国の名を記せ。
- (2) この遊牧国家の名を記せ。
- (3) 8世紀より設置された唐の辺境を守るための軍団の指揮官を何と呼ぶか。
- (4) 北朝時代から隋・唐代にかけて、ソグド人が主な担い手となって、ユーラシア東西を結ぶ交流が活発になった。このころ中国に伝来し、祆教と呼ばれたイラン起源の宗教の名を記せ。
- (5) この時期の唐にとって、ある物産の専売は重要な財源であった。その物産の名を記せ。
- (6) 後晋から契丹に割譲されたこの地域を何と呼ぶか。
- (7) 金によって攻め落とされた北宋の首都の名を記せ。
- (8) 十進法にもとづき遊牧民を編制するモンゴル帝国の軍事・行政組織を何と呼ぶか。
- (9) アジアを旅して元の大都まで至ったというイタリア商人マルコ＝ポーロの見聞をまとめたとされる著作は、ヨーロッパ各地で大きな反響を呼んだ。この著作の名を記せ。

- (10) このころ、ヨーロッパや北アフリカなどで大流行し、人口の激減をもたらした疫病を何と呼ぶか。
- (11) 次の史料は、ハーフィズィ＝アブルー『バイスングルの歴史精華』というペルシア語史書に引用される、北京遷都後間もない永楽帝のもとに派遣された外国使節による旅行記の序文の一部である。この史料を読んで、以下の問に答えよ。

彼らはヒタイの皇帝からの贈り物や珍奇な品々を持ち帰り、その国の情勢や習慣に関する珍しい話を語った。ホージャ＝ギヤースッディーンはヒタイへの旅を企画してヘラートの都を^た発った日から帰還の日までの彼が行く先々で見たこと——道の状況はどうか、いろいろな地方や建造物の様子、町ごとの慣習、王侯らの威風、支配と統治の方法、いくつかの不思議——これら各地で実際に目にしてきたことどもを日ごとに日誌の形で書き留めていたのであるが、彼は信頼できる人物であって私利も偏見もなく書き記していたので、その話の内容と摘要を引用することにした。

(注) ヒタイ：中国を指す。

ホージャ＝ギヤースッディーン：明への使節として派遣され、旅行記を著した人物の名前。

ヘラート：現在のアフガニスタン西端、イランとの国境近くの都市。

(出典 窪田順平編『ユーラシア中央域の歴史構図』総合地球環境学研究所、2010年)

- (ア) 領内の主要都市であったヘラートから使節を派遣した国の名を記せ。
- (イ) この旅行記には、北京にムスリムのために建てられたモスクがあったことが記されている。永楽帝に仕えたムスリムの宦官で、インド洋からアフリカ沿岸にまで至る船団を率いた人物は誰か。
- (12) もとは明の武将で、明の滅亡後に清に降伏し、清軍の北京占領を導いた人物は誰か。

B 19世紀、地中海への南下をはばまれたロシアが中央アジアや東アジアへの進出を強めた結果、中国とロシアはいつそう長い国境を接することとなった。以後、両者は対立の時代と友好の時代をくり返してきた。

ロシアは c 戦争に乗じて清とアイグン条約・北京条約を結び、ユーラシア大陸東端の領土を拡大した。また新疆のイスラーム教徒の反乱に際して一時イリ地方を占領した。

⁽¹⁴⁾ 清が日清戦争に敗北した後、ロシアは清から東清鉄道の敷設権を獲得し、また ⁽¹⁵⁾ d 半島の旅順・大連を租借した。ロシアは義和団戦争に際しても東三省(東北地方)を一時占領したため、清の知識人や日本への留学生の間で反ロシア運動が起きた。⁽¹⁶⁾

しかし、第一次世界大戦中にロシアで革命が起こると、新たに成立したソヴィエト政権は、帝政時代の在華利権を全て返還すると宣言した。実行はされなかったものの、当時の中華民国ではソヴィエト＝ロシア(1922年末よりソ連)に対する好意的な認識が広まった。さらに新文化運動のなかでマルクス主義が紹介され、コミンテルンの指導下に中国共産党が結成された。ソ連の援助を得た中国国民党と中国共産党は広州で国民政府と国民革命軍を組織し、政権奪取を目指して北伐を開始した。しかし、北伐のさなかに中国国民党の蒋介石がクーデターを起こし、中国共産党を排除・弾圧した。蒋介石は北京を占領して全国統一を宣言したが、国民政府とソ連の国交は途絶えた。

⁽¹⁹⁾ 1937年に日中戦争が勃発すると、第二次国共合作が成立し、ソ連は国民政府への援助を開始した。しかし ⁽²⁰⁾ 1941年に日ソ中立条約が結ばれ、ソ連が満洲国の保全を言明すると、国民政府のソ連に対する不信は高まった。

⁽²¹⁾ 日本が敗戦後、国共内戦が再開され、中国共産党が勝利した。新たに成立した中華人民共和国はソ連と緊密な外交関係をもった。しかしフルシチョフの ⁽²²⁾ e 批判を契機に中ソの関係は悪化に転じた。

⁽²³⁾ 1963年には中ソ論争は公然化し、1969年には中ソ国境の各地で武力衝突が発生するに至った。

ゴルバチョフがソ連共産党書記長に就任すると、中ソ関係は改善に向かった。ソ連解体をはさんで1990年代から2000年代にかけて中口間の国境画定交渉が行われ、妥結したこともあり、以後現在に至るまで中国とロシアは安定した関係を保っている。

問

- (13) ロシアが北京条約で獲得した沿海州に太平洋進出の拠点として築いた軍港の名を記せ。
- (14) 清はペテルブルクに外交官の曾紀沢を派遣し、1881年にロシアとイリ条約を結んでイリ地方の大部分を返還させた。曾紀沢の父で、太平天国の鎮圧に重要な役割を果たした清の官僚は誰か。
- (15) 日清戦争での敗北後、康有為や梁啓超は、光緒帝の支持を得て、日本やロシアをモデルとした清の体制改革を試みた。この改革の名を記せ。
- (16) 清から日本への留学生がこの時期に急増したのは、それまでの儒教にもとづく官僚登用試験が廃止され、西洋式学校の学歴で官僚を採用する制度が開始されたためである。隋の時代に始まり、この時に廃止された官僚登用制度の名を記せ。
- (17) 新文化運動のなかで『狂人日記』『阿Q正伝』などの作品を発表して中国社会を批判的に描き、後にマルクス主義の芸術理論やソ連の文学作品の紹介などにも関わった作家は誰か。
- (18) この時に国民政府の主席となったが、後に中国国民党左派の指導者として蒋介石と対立し、日中戦争中には南京に対日協力政権を組織した人物は誰か。
- (19) この後、国民政府はそれまでの各地の雑多な通貨の流通を禁止し、政府系銀行の発行する法幣による全国の通貨統一を図った。この時に通貨としての流通を禁止されるまで、中国の通貨の基本となっていた貴金属は何か。
- (20) これに先立つ1936年、張学良が蒋介石を監禁し、中国共産党との内戦停止を迫る事件が起き、蒋介石も抗日民族統一戦線に合意していた。この事件の名を記せ。
- (21) 1945年に米英ソ首脳の間で結ばれた協定には、ソ連の対日参戦と引き換えにソ連の在華利権を認めるという内容も含まれたため、ソ連と国民政府の溝はいつそう深まった。この協定の名を記せ。

(22) 以下の史料(ア)は 1950 年に中華人民共和国とある国の間で締結された条約，史料(イ)は 1972 年に中華人民共和国と別のある国が発表した共同コミュニケ(声明文)の一部である。

(ア) 一旦，締約国のいずれか一方が，日本あるいは日本と同盟する国から侵略を受け，戦争状態に入った時には，締約国のもう一方の国は，直ちに全力をあげて軍事的およびその他の援助を与える。

(イ) 双方はいずれも，アジア太平洋地域で覇権を求めるべきではなく，またそのような覇権を打ち立てようとする他のいかなる国もしくは国の集団の試みにも反対する。

(出典 歴史学研究会編『世界史史料 11』岩波書店，2012 年)

(ア)と(イ)の下線部はそれぞれ一般にどの国を想定した文言と理解されているか。最も適切と考えられる国名を記せ。

(23) 中ソ関係悪化の要因の一つとして，1959 年から 1962 年にかけて起きた中国と隣国の国境紛争に際し，その隣国側をソ連が支持したことが挙げられる。この隣国の名を記せ。

Ⅲ**世界史探究問題**

(20 点)

アジア産の商品はヨーロッパ人をヨーロッパ外部世界へといざなった。ポルトガルに対抗しようとしたスペインは、西回りでアジアを目指したが、結果的にアメリカ大陸を「発見」し、そこに植民地を建設した。アジア産商品とラテンアメリカ産商品を具体的に対比した上で、16 世紀から 18 世紀に至るスペインのラテンアメリカ植民地経営の特徴とその変遷を、労働力の供給源の変化に留意しながら 300 字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

IV

世界史探究問題

(30 点)

次の文章(A, B)を読み, の中に最も適切な語句を入れ, 下線部(1)~(17)について後の問に答え, また問(18)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

A 農耕のあり方は, それぞれの時代や地域において, 土地支配や政治と深いかわりがあった。

「肥沃な三日月地帯」とも呼ばれる a 地方では, 早くから河川の流域やオアシスで灌漑農業が営まれ, 定住人口の増加が進んだ。同地方を統一したハンムラビ王は, 各地に運河をつくり, また治水を推進した。エジプトでは, (1)季節的に増水する b 川の氾濫時期を予測し農作業を季節に応じて行う必要から, 太陽暦が用いられた。エーゲ海最大の島に起こった c 文明では, 宮殿の周辺に配置された巨大な貯蔵庫が特徴とされる。穀物生産に向かない地域ではブドウやオリーブなど果樹栽培が発達した。

(3)ローマが帝国支配により平和を確立したのち, 異民族の侵入などで経済衰退が始まると, 農業生産の仕組みも変化した。(4)キリスト教がヨーロッパ各地に伝播すると, 清貧や純潔の厳格な規律が課される修道院がつくられ, 労働が重視された。(5)中世の領主にとっては, 支配下の農奴に農作業を担わせる荘園制による土地経営が財政基盤であった。(6)(7)十字軍の影響で地中海地域の勢力図は様変わりするとともに, 東方との交易も盛んとなり, 人口も増加し食糧と農地への需要が生まれた。毛織物の生産や交易を通してイングランドやフランスとの結びつきを強めた d 地方では, 修道院が干拓事業を支援し, 都市と農村を結ぶ運河が建設された。農村生活は, 貨幣経済の発展にともない, しだいに市場を中心に組織されるようになった。(8)バルト海沿岸地方では東方植民運動が進み, (9)水産資源や北欧の毛皮, 木材が取引された。

問

- (1) この王が制定した法典で採用された「目には目を，歯には歯を」という原則を何と呼ぶか。
- (2) この地域では，19 世紀半ば以降，主にヨーロッパ向けのある商品作物の生産が盛んとなった。この作物の名を記せ。
- (3) 古代のアテネでは，ワインやオリーブ油を入れる陶器のかけらを政治的な目的で用いる制度があった。この制度の内容を簡潔に説明せよ。
- (4) 大土地所有者は下層市民を土地に縛りつけ働かせた。このような世襲身分の隷属農民を何と呼ぶか。
- (5) 6 世紀のイタリアでモンテ＝カシノに修道院を建てたのは誰か。
- (6) 彼らがもっていた不輸不入権(インムニテート)とは何か。簡潔に説明せよ。
- (7) この制度の下では，農奴は領主に 2 種の義務を負った。それぞれを簡潔に説明せよ。
- (8) これにともない形成された商業圏では，ハンザ同盟が結成された。その盟主となった都市の名を記せ。
- (9) この地域に拠点を築いて一帯を支配した修道会の名を記せ。

B 国の統治体制の基礎を定める文書である近代憲法は、18世紀の欧米に起源し、急速に世界中に伝播した。さまざまな憲法や憲法案が作成された。

1755年には、ジェノヴァからのコルシカ島の独立を目指す一環として、パスカル＝パオリ⁽¹⁰⁾はコルシカ憲法を起草した。後に、ジェノヴァから領有権を得たフランスとの戦いに敗れたパオリはイギリスに逃れたが、彼のことを、同郷のナポレオン＝ボナパルトは英雄として崇拝していた。そのナポレオンは軍人として頭角を現し、権力の階段を駆け上り、1799年には彼を第一統領とする新しいフランス憲法が制定された。1801年、長らくフランスの植民地であったサン＝ドマングでは、指導者トゥサン＝ルヴェルチュールが最初の憲法を⁽¹¹⁾発布し、そのなかで奴隷制度の永久廃止を宣言した。

ナポレオンの侵攻を受けたスペインでは、占領を免れたカディスで開かれた⁽¹²⁾議会によって、1812年に、スペイン最初の憲法が制定された。アメリカ合衆国憲法やフランス1791年憲法の影響を受けたもので、植民地の先住民やクリオーリョの男性にも等しい政治的権利を与えた点で画期的であったが、これは数年後、復位した国王によって廃止された。しかし、カディス憲法は南米大陸では模範として参照され続け、アルゼンチンやチリ、ペルーなどで19世紀前半に制定された憲法にはっきりとした痕跡を残した。⁽¹³⁾北米大陸のアメリカ合衆国の内部では、1827年に先住民のチェロキー族が憲法を起草したが、その領土的な主張は政府の認めるところとならず、⁽¹⁴⁾1830年代にはチェロキー族はオクラホマへ強制移住させられた。

イギリス海軍の艦長であったラッセル＝エリオットは任務で訪れた南太平洋のピトケアン島住民の要望に応える形で、1838年、同島をイギリス帝国に包摂するとともに、「憲法」を与えた。これにより、子どもの就学が義務化され、世界の憲法史上初めて、成人の男性と女性に等しく選挙権が与えられた。2年後のハワイ島では、キリスト教宣教師たちの働きによって現地人の意向も反映した形で憲法が制定され、時の国王カメハメハ3世の下での二院制の立憲君主制を定めた。憲法を持ったハワイは数十年間の独立を保った。日本も1889年⁽¹⁵⁾に大日本帝国憲法を発布した。20世紀初頭にはイラン、オスマン帝国、中国⁽¹⁶⁾で相次いで憲法ないしそれに準じる文書があらわれた。

第一次世界大戦後、ドイツでは1919年にヴァイマル憲法が制定され、ソ連⁽¹⁷⁾では1924年に憲法が制定された。イギリス連邦の一員であったアイルランドは1937年に新憲法を制定してイギリスからの自立を主張した。もちろん、憲法はあってもその内容がほとんど守られない国もあった。

現在でも憲法は世界の各地で新たに制定されたり修正されたりし続けている。イギリスのように成文憲法を持たない国もある。

問

- (10) ウィーン会議での決定によりこの地を併合した、後のイタリア王国建国時の中核をなす王国の名を記せ。
- (11) この地で1804年に独立が宣言された。この時建国された国の歴史的な意義は何か。
- (12) この時期の惨状を描いた絵画「1808年5月3日」で知られる画家は誰か。
- (13) この国は1982年にイギリスと戦争をした。何が争われていたのかを答えよ。
- (14) 次の2つの史料から読み取れる、チェロキー国憲法の特徴を3つ挙げよ。

・アメリカ合衆国憲法(1788年)

《前文》

われら合衆国人民は、より完全な連合を形成し、正義を樹立し、国内の平穏を保障し、共同の防衛に備え、一般的福祉を増進し、そしてわれらとわれらの子孫のために自由の恵沢を確保する目的をもって、ここにこの憲法をアメリカ合衆国のために制定し、これを確立する。

《第1条第2節③》

下院議員の数及び直接税の徴収額は、この連邦に加入する州に対して、その人口に応じて配分する。各州の人口は、自由人の総数に、その他のすべての者の数の五分の三を加えることにより算出する。ただし、自由人には、一定の期間役務に服する者を含み、課税されていないインディアンを除くものとする。(後略)

(出典 高橋和之編『[新版]世界憲法集 第2版』岩波文庫, 2012年)

- ・チェロキー国憲法(1827 年)

《前文》

われらチェロキー国人民代表は、招集された会議において、正義を樹立し、平穩を保障し、われら共通の福祉を増進し、そしてわれらとわれらの子孫のために自由の恵沢を確保する目的をもって、(中略)ここにこの憲法をチェロキー国政府のために制定し、これを確立する。

《第 3 条第 7 節》

18 歳以上のすべての自由な男性市民(黒人と、解放されているとしても、黒人女性が白人およびインディアン男性との間にもうけた者は、除く)は、すべての公的選挙において平等に投票権を有する。

(Constitution of the Cherokee Nation formed by a convention of delegates from the several districts at New Echota, July 1827, 1828 より訳出)

- (15) ここを 1898 年に併合し、独立に終止符を打ったのはどの国か。
- (16) 関連して、下記の問に答えよ。
- (ア) イランで立憲革命に至るナショナリズムが高まる過程で、1890 年のカージャール朝による外国の会社への独占利権の譲渡をきっかけとする大きな政治的運動が生じた。この運動は何か。
- (イ) オスマン帝国でこの時期に、長らく停止されていた憲法が復活した。その憲法の臣民の権利に関わる特徴を説明せよ。
- (ウ) 1908 年に清朝が発表した文書の名を記せ。
- (17) この 2 年前にソ連は成立した。この時これを構成した 4 つのソヴィエト共和国のうち 2 つを答えよ。
- (18) B の文章を踏まえて、(ア)19 世紀から 20 世紀前半において、とくに欧米の外側の世界で、多くの国や地域の人びとが憲法を求めた(あるいは外来者が憲法を与えた)理由を説明し、(イ)この時代にそれが可能となった技術面での条件を挙げよ。

世界史探究問題は、このページで終わりである。